

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ピアノレパートリーⅡ Piano Repertory Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程選択)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
音楽表現Ⅰ 音楽表現Ⅱ ピアノ演奏法Ⅰ ピアノ演奏法Ⅱ ピアノレパートリーⅠ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職課程(幼稚園教諭二種) 保育士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
メンサー華子 藤野理恵子 中沢充恵 西尾幸子		講義棟1階	月・金	授業中に指示します
授業の概要				
音楽をとおりて幅広い表現活動を可能にするためのピアノ演奏および歌唱の技術習得を図る。授業ではクラシック・幼児曲・その他(ポピュラー、ジャズ等)受講生の希望する楽曲を指導し、各自のレパートリーを増やす。また、採用試験での課題や内定先から提示された楽曲の指導も積極的に行う。				
授業の目標				
①コードネームの基本を理解し、ベース音を用いた単純な伴奏形を自ら演奏することができるようにする。 ②楽語や記号、フレーズなど、楽譜からの情報を豊かな表現に繋げることができるようにする。 ③歌詞の内容や、指導のねらいを把握し、子どもたちに表現指導をすることができるようにする。 ④自らの意志で選んだ音楽を自ら楽しんで演奏できるようにする。				
授業の方法				
演習(実技を中心)形式。ピアノ実技を中心とした担当教員による個人レッスンと、歌唱表現を中心としたグループレッスンとを並行して行う。受講生は毎回ピアノと歌唱のレッスンを受け、弾き歌いの実践を行う。				
学習の成果(学習成果)				
①簡単なコードを使って楽曲を弾くことができ、幼児曲の伴奏や、弾き歌いに発展させることができる。 ②豊かに表現する喜びを感じ、保育者として子どもたちの表現活動を指導することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	全体オリエンテーション：授業概要、評価方法、受講上の注意等を説明 担当者別：教材の選定と課題			
第2回目	ピアノ：コードネームの読み取り 歌唱：姿勢・発声			
第3回目	ピアノ：ベース音を用いた簡易な伴奏付 歌唱：腹式呼吸とは			
第4回目	ピアノ：簡易伴奏のリズムや音型を変化① 歌唱：響く声をつくる			
第5回目	ピアノ：簡易伴奏のリズムや音型を変化② 歌唱：高い音を出す			
第6回目	ピアノ：自由曲演習① 歌唱：弾き歌いの実践①			

第7回目	ピアノ：自由曲演習② 歌唱：弾き歌いの実践②
第8回目	ピアノ：自由曲演習③ 歌唱：弾き歌いの実践③
第9回目	ピアノおよび歌唱：発表曲の選定
第10回目	ピアノおよび歌唱：発表曲指導① 音楽記号を表現につなげる
第11回目	ピアノおよび歌唱：発表曲指導② フレーズを考える
第12回目	ピアノおよび歌唱：発表曲指導③ 曲の構成を読み解く
第13回目	ピアノおよび歌唱：グループ演習 演奏分析 効果的な演奏法とは
第14回目	ピアノおよび歌唱：発表
第15回目	発表会講評 今後の課題およびアドバイスの提示

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	与えられた課題を練習して授業に臨んでいるか、レッスンを理解して実践に繋げているかを評価する。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	50%	担当教員全員の前で1曲演奏し、曲の難易度と表現力で採点する。
その他	20%	課題曲を何曲レパトリーにできたか、進捗についても評価する。

教科書と参考図書

就職試験課題曲、その他（自由曲）

履修上の留意点・ルール

<p>使用教室（MR I、MR II、レッスン室）では、飲食持ち込み禁止とする。 毎回、各学生の進捗に適した曲が課題となり、次回の授業でその曲の個人レッスンを受ける。 短い時間でも毎日鍵盤に触れ、将来、保育現場で子どもたちに音楽の楽しさを伝えられるように努力してほしい。</p>
